富士通コンピュータテクノロジーズ

「啐啄同機」の指針で躍進

組込システム開発の出色

（禅語）に「啐啄同機」という言葉がある。雛が卵からかえる時、親鳥が上からコンコンと叩くのと、雛が下からコツコツと突きあげるのが同時にかつ同じ場所でなければ、絶対に殻は破れないという意味だ。つまり一方通行では何事もうまくいかないという教えでもある。時代のニーズと啐啄同機し、取引先と信頼の啐啄同機を育み、社員との啐啄同機が社風となれば、企業はたゆむことなく伸展する。

㈱富士通コンピュータテクノロジーズ（代表取締役社長・菊池 伸行氏）は、組込みシステム（ソフトウェア・ハードウェア）の開発において、高い技術力と数多の実績を有するトップレベルの技術者集団。『富士通』グループという強いバックボーンを踏まえながらも、その枠のみには捉われず、「ユニークで存在感のある組込みシステム開発専門会社」として進化し続けてきている。サーバ、ストレージシステム、ネットワーク機器などのコンピュータシステム製品から、携帯電話やＩＣカードに組み込むシステムＬＳＩなどのユビキタス製品まで、その活動範囲は富士通グループ内のみにとどまらない。取りも直さず、それは同社が研鑽を重ねてきた「啐啄同機」の証明であり、社員一人ひとりの努力精進の賜物と言えよう。オブジェクト指向技術などの新たな技術習得、人材育成にも注力。常にたゆむことなく、より高度な組込みシステム技術力を磨きあげるプロフェッショナルとして、更なる成長を目指している。

川崎市中原区上小田中４・１・１

産経新聞「企業の志魂（こころ）」2007年9月16日